

【会議録（概要）】

実施日時	平成 29 年 4 月 5 日（水）午後 2 時 40 分～3 時 15 分	実施場所	庁議室
会議名	平成 29 年度第 1 回越谷市広報広聴専門委員会議		
件名／議事	1 正副委員長の選出 2 報告事項 平成 29 年度広報広聴業務の主な取組みについて 3 議事 平成 29 年度広報広聴専門委員の活動について 4 その他 5 閉会		
出席者等	出席委員 田中委員、川本委員、江原委員、駒崎委員、櫻井委員、吉野委員 欠席委員 白井委員 事務局 宇田川市長公室長、広報広聴課 小泉課長、川澄副課長、高土主幹		
議事要旨			
<p>○報告事項</p> <p>平成 29 年度広報広聴業務の主な取組みについて</p> <p>平成 29 年度広報広聴業務の主な取組みについて、事務局から説明を行い、委員の意見を聴いた。</p> <p>[委員からの主な意見]</p> <p>特に意見等なし</p> <p>○議事</p> <p>平成 29 年度広報広聴専門委員の活動について</p> <p>平成 29 年度広報広聴専門委員の活動について、事務局から説明を行い、委員の意見を聴いた。</p> <p>[委員からの主な意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テレビ広報番組について、放送時間の短縮という話があったが、時間の長短にかかわらず、見る人は見るし、見ない人は見ないと思う。 ・ テレビ広報番組について、金額の数字だけで高い安いという議論をするのではなく、目的と照らし合わせて考えてほしい。 ・ 広報紙のお知らせ版と季刊版は、両方あっていいと思う。 			

- 広報紙とホームページは、手段が違うだけであり、利用する人にとって選択肢があればいい。
- 広報こしがやお知らせ版の1面は、その月に一番お知らせしたいことなのだから、同じ内容をホームページのトップに載せるべきである。
- 季刊版春号の「高齢者が地域で安心して暮していくために」はよかった。情報をただたくさん詰め込むよりも、このようにきちんと記載するのはとてもいい。

○司会 第1回広報広聴専門委員会議を開催いたします。

今回は新たな委嘱で初めての開催となりますので、正副委員長の選出をお願いしたいと存じます。

[委員長に田中委員、副委員長に川本委員を選出]

○司会 それでは、早速でございますが、委員長、副委員長からご挨拶をいただきたいと存じます。

○委員長 よろしくお願ひいたします。越谷市体育協会の副会長を仰せつかっておりまして、青少年の育成ということで、越谷市空手道連盟会長を務めております。礼儀作法、言葉遣い、越谷市に一人でも正座のできる青少年で、先輩、後輩をよくわきまえ、そういう人たちを命ある限り指導して、そして続けていきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

○副委員長 皆さん、こんにちは。また新しく2年間、委員として参加させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

越谷市においては、今、越谷市国際交流協会の副会長をしておりまして、この広報に対していろいろな、前回の会議でもありましたように積極的に意見を述べていく。年3回の会議だけではなくて、積極的にその都度、感じたことの意見を述べていくことが、今回からは大事ではないかと感じましたので、そのあたりをしっかりと実行してまいりたいと思っております。

仕事は環境関係の会社を東京でやっております。

○司会 どうもありがとうございました。

それでは、早速、これより議事に入りたいと存じます。議事の進行につきましては委員長をお願いいたします。

○議長 しばらくの間、議長を務めさせていただきます。

それでは、主な取組みについて、広報広聴課長からお願いいたします。

○広報広聴課長 それでは、次第の報告事項の平成29年度広報広聴業務の主な取組みについて、事務局からご説明を申し上げます。

○広報広聴課副課長 お手元の資料3をご覧くださいと思います。平成29年度広報広聴課の主な事業についてご説明させていただきます。大きく分けて6つ事業がございます。

まず1点目、広報活動事業ということで、この事業には広報広聴専門委員会議の開催と市政移動教室の開催という2つの内容がございます。事業予算につきましては、専門委員会議は24万円、市政移動教室は2万円となっております。

続きまして、広報紙発行事業でございます。広報こしがや「お知らせ版」の発行、「季刊版」の発行、広報こしがや「お知らせ版（点字版）」の発行、電子ブック「マチイロ」での広報こしがや「お知らせ版」、「季刊版」のインターネット公開、そして広報紙の発送業務となっております。この2点目につきましては、基本的には昨年度とほぼ同等の内容で事業を進めてまいります。

3点目が、広報刊行物発行事業でございます。こちらにつきましては、こしがや案内図の発行、市勢要覧の発行、こしがや市民ガイドブックの発行と、大きく分けて3点ございます。平成29年度につきましては、こしがや案内図の発行のみの実施となっております。予算につきましては、例年、100万円程度なのですが、今年度につきましては、平成23年度に一度発行しているのですが、残部数が少なくなってきたことございまして、英語版1,000部の発行をあわせて実施いたします。市勢要覧と市民ガイドブックにつきましては、来年度、平成30年に発行の予定でございます。

続きまして、4点目、ホームページ・テレビ広報事業でございます。テレビ広報番組「いきいき越谷」、30分の番組でございますが、こちら毎月、計12回の制作と放送です。そして、テレビ埼玉でのデータ放送が、今年度新たに加わっております。dボタンを押して出てくる画面で、越谷市の中にあるテレビであれば、越谷市の情報を同時に2件まで発信できるものでございます。こちらにつきましては、市の行う大きな催し、あるいは緊急時、例えば避難所の開設ですとか、避難勧告の発表ですとか、そういったもののお知らせをさせていただきたいと考えています。

続きまして、公式ホームページの公開ということで、1,420万円の予算がございまして。こちらにつきましては、例年のホームページの保守運用に加えまして、本年度11月にホームページの全面リニューアルを実施する予定でございます。

バリアフリーマップの公開につきましては、引き続き実施しております。

c i t yメール配信サービスを活用した情報配信ということで、登録者の数は約3万2,000人で、配信の種類については、災害・防犯・防災行政無線、健康医療、市政に関するお知らせ、イベント、子育てに関するお知らせという5種類を実施しております。

ツイッター、ライン、ユーチューブにつきましては、インターネットの無料のサービスを活用してそれぞれ情報発信をしております。登録者数は、それぞれツイッターが6,000人、ラインが4,000人、ユーチューブが400人となっております。

1点目から4点目が大きく広報に関するものでございまして、5点目が広聴活動事業でございます。内容につきましては、市民の提案制度の運用、市長への手紙、市長への電子メールということで、昨年度から引き続き実施しております。また、

市政世論調査につきましても実施します。市政モニター制度、市長とふれあいミーティングの開催も、基本的には昨年度と同様となっております。

最後、6点目が、市制施行60周年記念事業です。今年度はロゴマーク、キャッチフレーズの公募を行いたいと考えておりまして、そちらの賞品代等で15万円。あとは、今年11月から平成30年の11月までの1年間が事業の期間となるのですけれども、そちらでいろいろPRをしていくための横断幕や懸垂幕、旗のようなものをつくりたいと考えております。食糧費につきましては、市民の皆様からいろいろなご意見を頂戴するための会議を開催させていただきたいと考えておりますので、そのお茶代です。委託料につきましては、ロゴマークを募集して、商標登録がないかどうかを専門の業者に委託してデータベースの確認作業をやってもらうための委託料です。

平成29年度の広報広聴課の主な事業につきましては以上でございます。

○議長 60周年を迎えるに当たって説明がありました。何かただいまの説明の中でご質問、ご意見等ありましたら、お願いしたいと思います。

商工会議所のほうで、この60周年については何かありますか。

○委員 市制60周年については、どう動いているか、まだ把握していません。

○議長 ほかに何かございませんか。

では、主な取組みについては、これで終わりにします。

次に、専門委員の活動について、事務局からご説明いただきたいと思います。

○広報広聴課副課長 それでは、資料4—1、平成29年度広報広聴専門委員の活動についてをご覧ください。

広報広聴専門委員につきましては、本年度、年間3回の会議を予定しています。今回は1回目なのですが、あと2回、広報広聴専門委員会会議の開催を予定しております。それぞれの会議の議題等につきましては、現時点では未定なのですが、委員の皆様からいただいたご意見等を参考に検討させていただきたいと思っております。開催の都度、私どものほうからご助言いただきたい議題を提示させていただいて、会議の中でご協議いただく形をとらせていただいております。

加えまして、今年度から市への提言（随時）ということをお願いさせていただければと思っております。広報広聴専門委員の皆様のご活動の一環として、以下の件について、例えば、視聴をしてくださったとき、あるいは気づいたときに適宜、市に対する意見等を広報広聴課へご提出いただければと考えております。

1点目が、毎月1日に発行する広報こしがや「お知らせ版」、3月、6月、9月、12月の各15日に発行する「季刊版」。テレビ埼玉で毎月第3土曜日と翌日曜日の午前9時30分から放送しているテレビ広報番組「いきいき越谷」に対するご意見をいただければと思っております。

広報こしがやにつきましては、前回、3月16日に開催させていただいた平成28年度第2回会議で説明しました、お知らせ版と季刊版を行く行く統合していきたいと考えております。その統合を見据えたご意見などを頂戴できればと思っております。

また、テレビ広報番組「いきいき越谷」につきましても、放送時間の短縮を考えておりますので、ご意見を頂戴できればと思っております。

具体的には、今後どんなものを私どものほうでいただきたいと思っているかと言いますと、例えば、広報こしがや「お知らせ版」であれば、掲載されている記事の内容がわかりづらい、行政が書いているのだから行政はわかるのだろうけれども、市民にしたらこの内容はわかりづらいのではないかといったようなもの。広報紙に掲載されていないのだけれども、こういう内容はもっと積極的にお知らせすべきではないかといったもの。あとは、掲載する記事の内容について、掲載する方法をもう少し工夫したらどうなのかなど。例えば、毎月広報紙に小さく、何とかの納期限は何月末ですというようなものを出しているのですけれども、基本的にそういったものというのは年間通して、もう既に4月に決まっているものなので、4月に大きくどんと載せて、最初に皆さんにお知らせするというようなご意見も頂戴したこともあります。これについては、担当課とのやりとりの中で、4月に出してしまうと、すぐに広報紙を捨てられてしまい、わからなくなってしまうというようなお話などいろいろあつたりもするのです。そういった掲載の内容の工夫ですとか、ご意見が頂戴できればと思っております。

あるいは、市からのお知らせ以外にも、広報こしがやにはさまざまな記事が載っております。例えば、お知らせ版でしたら、いろいろ市民の皆さんが活動してくださっている「協働の担い手たち」。お手元に広報紙をお配りしているのですが、4月号は「協働の担い手たち」がお休みでして、3月号の8、9面の左肩にみなみこしがや子ども食堂を掲載しております。協働という考え方だと思うのですけれども、市民の皆さんがさまざまな活動をしてくださって、そういった団体さんの活動をご紹介するようなこと。あるいは、同じく3月号の14面ですけれども、こしがや探検隊、こどもクイズ、すこやかさんなど、子供向けのコーナーという形で掲載しております。あとは、3月号ですと10面の下のほうに載っております、この指とまれ、クラブ・サークルの会員募集、催し案内といったような記事です。あるいは、最終ページ、16面に、わがまちこの人、まちの話題ということで、基本的には発行月の前の月に市内で起きた出来事などを紹介しているページがあります。

季刊版であれば、ときめきインタビュー。あとは、サンシティですとか、ミラクル、コスモス、ヒマワリ、老人福祉センターなどで開催されるイベント、こういったものを今後継続して掲載していくべきなのか。何かもう少し表現の仕方を見直し、

あるいは廃止といった観点からもご意見がいただければと考えております。

テレビ広報番組「いきいき越谷」につきましては、現在30分の番組で、市政ニュースですとか、特集、あるいはまちかどズームアップというような、市民の皆さんが活動している内容をご紹介しますコーナーがあります。それを時間を短縮するに当たって新しく、今のところ私どもでは、特集のみを残すような形でどうかと考えています。そうではなくて、例えばこういうやり方もあるのではないかとというようなご意見がいただければと考えております。

広報紙とテレビ広報番組以外でも、インターネットを活用した広報ということで、市の公式ホームページ、メール配信、ツイッター、ユーチューブ、ラインといったものも現在活用しているのですけれども、こちらに対しても、もうちょっと積極的に何かをやったほうがよいのではないかとすとか、公式ホームページについては、今年度リニューアルを考えておりますので、リニューアルを機に、こういった取り組みもやってみてはどうかというようなご意見をいただければと思っております。

ご意見につきましては、資料4-2につけさせていただきました様式をご用意したのですけれども、どういう形でも基本的には結構ですので、何かご意見がいただければと考えております。

タイミングに関しては、私からのご説明では随時ということにさせていただいているのですけれども、ある程度、回数ですとか、期限を設けたほうがよろしいとか、そういったこともご協議いただければと考えております。

先ほど副委員長からも、もうちょっと積極的に、3回の会議だけではなくて意見をというようなお話もありましたし、昨年度の第2回会議でもそういったご意見がありましたので、下のほうに参考として記載させていただきましたが、専門委員会会議が年3回しかないのので、広報紙を見て感じたことを年間を通して出したほうがいい。それを集約して会議の際に委員の皆さんに見ていただいて検討するのはいいことだというようなお話をいただいておりますので、参考にお話しさせていただきました。

○広報広聴課長 ちょっと補足なのですが、今の市への提言についての本文の中で、6行目と7行目に、広報こしがやについては、お知らせ版と季刊版の統合も想定した意見等、テレビ広報番組「いきいき越谷」については、放送時間短縮も想定した意見等ということで、ご意見をいただきたいと記載させていただいているのですけれども、こちらにつきましても、統合ありきというところで皆様にそちらの方向に進むような意見をいただきたいということでございませぬので、あくまでもそういったものも観点にいれながら、両方を読んでいただきたいというところで記載をさせていただきます。

越谷市のように、このようなお知らせ版というタブロイド判の大きさのものと季刊版A4判のもので、形の違うもの、しかも発行の間隔も違うものを2種類発行している団体というのは、まずないかと思うのです。実際、平成11年当時までは月に2回、8月と1月は1回でしたので、年に22回、今で言うお知らせ版のタブロイド判で発行していたという経緯がございます。

委員長はご存じかと思うのですが、当時、課長補佐と、係にいました私と2人で主にこの改編の作業を進めて、季刊版に移行したという経緯がございます。当時、お知らせ版しかないのですけれども、お知らせが多過ぎて特集を組む余裕がなかった。読み物を全部割愛し、全部がお知らせになってしまう月もあったというような状況で、いかにお知らせもしながら市のことをわかってもらう記事も書けないだろうかと。あるいは、カラーの印刷技術もちょうど出てきたときで、カラー印刷で発行できないものかとか、いろいろな中で今の形ができ上がったのです。実際、お知らせ版と季刊版と言いながらも、季刊版にお知らせが載っていないかというところ、コスモスであるとか、ヒマワリであるとか、老人福祉センターなどのお知らせが入っているのです。読む方からすると、どちらを読めばお知らせが見れるのと聞かれるときがあるのですけれども、お知らせ版だけを読んでくださいということでもなくて、季刊版の中にもやっぱりお知らせが入っているということを考えると、どちらも読んでいただきたいのが本音なのです。あとは、保存するにしても、大きさの違うものを保存されるというのは、市民の方にとってはやはりちょっと不便かと思っております。その辺で、今の形になってから既に17年ぐらいたっているのですけれども、今年度中という話ではないのですが、何年かかけてどちらかにというか、他市の状況などを見ているとA4判でというところが多いですけれども、A4判カラーで発行に統一できないかというところで、数年かけて検討を進めていきたいという中で、皆様については、どちらがいいとかということではなくて、こういうところを工夫したほうがいいのかというような観点で、今の2つ、二本立てのものの特長であるとか、デメリットであるとか、そういったところの観点で広報紙を読んでいただきたいというところで、この1行を書かせていただきました。よろしくお願ひいたします。

また、テレビ広報番組の放送時間短縮を想定したというところなのですけれども、これも短縮ありきで皆様にそちらにご賛成をいただくような意見をいただきたいということではなくて、30分番組でコマーシャルも入りませんので、バラエティー感はあるにしても、30分間ずっと見ているということで、その辺で長期的にはどうかというところと、あるいは予算のほうも、過去の時代に比べてかなり厳しくなっている状況で、例えば時間を短縮することによって捻出できたお金を、またほかの広

報媒体に使えるとか、また、その広報媒体も10年前、20年前に比べて媒体も多様化していますので、その辺にお金をかけるための短縮というか、簡素化といったものも含めて、総合的に広報のあり方というものを考えていく中での一つの手段として、「いきいき越谷」の放送時間の短縮というものを書かせていただいています。その辺もそういう観点でご覧いただけたらと思っております。

○議長 「いきいき越谷」について、短縮するという話もありますが、極端に言ったら、30分でも1時間でも見る人は見るし、見ない人は見ない。うちなんか、「広報広聴専門委員やっているのだから見てくださいよ」と言って、ビデオを撮られてしまうぐらいです。市の予算がありますから、その中で調整して行って、長所、短所、ご意見いただいたほうがいいのではないかと思います。現状の広報、季刊版と広報こしがやについても、委員として参加していて、まあまあ、ほどほどだと思います。このまあまあ、ほどほどというのはなかなか難しい点数なのです。ですから、余り欲張らないで、私はこの辺でいいかなと思っております。

○委員 一歩前進したと思います。こういう専門委員の会議というのは、あと2回しかないのです、都度、こういうものを出しながら、会議の中身についてしっかりと、今まででしたら予備知識を余り持ってこない状態で、当日議題が出されて、例えばそれに対してなかなか言葉が出づらい内容でもあったのかなと思います。例えば一つのフォームにしても、これはメールでいいわけでしょう。

○広報広聴課長 はい。メールで。

○委員 だから、メールで感じたことを打っておいて、こういった会議で皆さんで出たものを検討しながら、また市の考え方をお聞きするという、ちょっと一歩前進したのかなと思います。

専門委員会会議は、あと2回ですけれども、何月と何月になりますか。

○広報広聴課長 10月、2月を基本に調整させていただいています。

○委員 では、10月の会議に向かってご意見を出したり、考えていきたいと思えます。

○議長 今、お話があったように、市役所に来たとき、広報広聴課長や市長公室長のところにちょっと顔を出して、簡単に意見交換というか、意見を述べていただいたり、顔見て、次の会議はどんな項目で、どんなところを聞き出したいというぐらいの話をしていけばいいのではないかと思います。

ホームページだとか、メールだとか、ツイッターだとか、ユーチューブだとか、ラインだとかは、私は全く苦手なので、本人と会ってしゃべってしまうほうが早いので。

今回、こういう用紙をいただきましたので、そこに書いて出してもいいですし、私が言ったように、越谷市の庁舎近いですから、自転車でも何でもちょっと来たと

きに、課長いるかい、室長いるかい、副課長いるかいというのでやってもらったら一番いいかなと思っています。よろしく願いいたします。

ほかに何かございますか、活動について。

○委員 テレビ放送の短縮も想定という話がありましたけれども、先ほどの資料3で、今年度の事業ということで、金額が載っています。どうしても、金額と比べて、数字を追っかけてしまうような傾向は否めないのですけれども、いや、ちょっと待つてよということを申し上げたいのです。何かしらやっているのには、それなりの背景も、目的もあるでしょうから、そこら辺と照らし合わせた上で、本当に今時代に乗って、当時は意味があったけれども、今はどうなのというところをちゃんと踏まえて検討はしなければいけないだろう。その上での選択、ベターなところでの変更あるいは対処方法というのはあり得ると思うので、数字だけ追っかけて、高い、安いだのというような議論はちょっと不毛だと思います。あくまで目的と照らし合わせてやっていただきたいと思います。

それから、広報こしがや、季刊版とお知らせ版ですけれども、これは私としてはどちらも残しておいたほうがいいのではないかと思います。形態は違うかもしれませんが紙の保存というのがご家庭でやっているというのは余りイメージなかったもので、その場合は大きさがどうのこうのというのはあるかもしれませんが、2つあるということは、考え方は両方あると思っています。

一方で、先ほどの話でもちょっと申し上げましたけれども、全部が全部、ホームページにあるものがこっちに入って、この紙にあるものがホームページにも載っているという、ぴったり対応するというのは、ちょっと不可能かもしれませんが、基本的な考え方は、ただ手段が違うだけで、その人それぞれの都合のいいほうで見るということで、選択肢があればよろしいかなと思っています。紙の場合は、どうしても紙面の制約があるので、全部書き切れない場合は、詳しくはウェブでというような、よくありがちのフレーズが出てくるかもしれません。

あと、個人の顔写真とか出ているもの、こういうものは紙だけですよということ写真撮っているのならば、ホームページに載せるのはいかがかなと思うのですが、それでも同意が得られるのなら、そういうホームページ版のエリアもあってもいいのかなと思います。

さらに、前回申し上げたとおり、お知らせ版の一番トップに写真がどんと出てくるわけですから、それはやっぱり今月言いたいことを言っているわけですから、ホームページでも一番最初にそれが、トップ画面にスライドのページがあるわけですから、そういうところにも当然載るべきではないかと思っています。

ですから、お知らせしたい情報はありますよと。紙で印刷することもできる、紙

でお配りすることもできます、ホームページでもちゃんと同じことが見られますよという状態が一番いい状態だと思います。

○議長 広報広聴というのは、本当にサービス精神で実施していったら切りがないです。どこまで行っても切りがない。さっき言ったメールだとかラインだとか、それと紙2種類。無駄がないように取捨選択して、それで何にでも載っている。リンクしているというのではなくて。

私が前に言ったのですけれども、ここに穴をあけてバインダーでとじていけるような、そういうバインダーも配ったらどうか。随分昔、まだ越谷市が裕福なときもあったのですけれども、現在では、金がない、金がない、予算を削ることばかりやっていますので、そこからいくと、このいっぱいあるものをどうやって集約していくかというのも必要ではないかなと思っています。その都度ご意見をいただいて、一步一步新たに上っていきたい、そういう気持ちであります。

○委員 今回の季刊版の内容なのですが、「高齢者が地域で安心して暮らしていくために」で6ページ割いていらっしゃるのです。これは、すごい、やったなと思って、とてもいい記事だと思います。とてもわかりやすく、6ページというのは、かなり勇気があったのではないかな。ほかの分野でもぜひこのような扱いでお願いしたいと思います。

○広報広聴課長 内容的に、おもしろいか、おもしろくないかといったら、タイトルだけを見たらおもしろい記事ではないのです。ただ、それをいかに読んでいただいて、例えば4ページぐらいで飽きてしまわないように、どうにか6ページ読んでいただくようなレイアウトであるとか、本文も工夫いたしまして、今回6ページで特集を組ませていただいて、いろんな方からやっぱり、よかったというご意見はいただいております。ありがとうございます。

○委員 民協でかかわっていることもありまして、本当に情報が多過ぎて、大事なことが左から右に流れてしまうことも多い社会なので、ただただ情報をたくさん詰めるよりも、こういうふうきちんと記載してくださるのはとてもいいと思いました。

○議長 ここ最近、テレビでも、認知症だとか、たくさん取り上げるようになってきて、やっぱり高齢者の時代です。これは確かに評価されて、きっちり読むと、それなりに、自分もそこへもう入っているのだけれども、安心です。やっぱり行政がここに取り上げるというのはいいと思います。

○広報広聴課長 断片的には知っていたのだけれども、何かこれを読んだら全体がつながったというご意見をよくいただきます。

○委員 そもそも限られた紙面ですから、どうしてもいろんなものを詰め込みたくなりがちではあるのですけれども、各ジャンルだとか、世代ごとに気になる部分は、

自ずと違うと思いますから、なるべくいろいろな分野、いろいろな方々に興味を持っていただけるような市の工夫はしていただきたいと思います。

○議長 余り欲張らなければいいのです。欲張ってしまうと、長所、短所が拾いやすくなってくるので、広報広聴だから、意見も好き勝手に出てきてしまいますからね。その他、何かありましたら。

○広報広聴課長 事務局からは特にございませぬ。

○議長 それでは、議長を降りさせていただきます。

○司会 議事の進行、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして広報広聴専門委員第1回会議を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。